

# 女性が活躍している企業を応援します

**大抜擢!**  
ボランティアアスタツ  
フから取組役に

相模原市のコミュニティ放送局として、地域に密着した情報を提供する「エフエムさがみ」さんに、女性活躍事例をインタビューしてきました。



原社長(右)と平岩副社長(左)にお話を伺いました

犬飼 20年のメディア制作を生かし、エフエムさがみを立ち上げたそうです。どのようないった性の力が加わったのか教えてください。

原 メディアとは、いわば発信したい人が自由に書き込めるホワイトボードのようなもので、情報に男女の区別はありません。番組制作や情報収集に携わって貰う上で、女性が自然と加わり、時間の自由などもあって、今では女性の多い職場になっています。



こちらの皆さんが番組づくりに携わっています

犬飼 その中でも、ボランティアアスタツとして活躍している平岩さんが、経営者としての女性の活用という特別な思いがありました。

原 いえ、特別に女性の活用を考えただけでなく、女性が活躍するにつれて、やはり彼女たちの意見や立場を理解し、まとめてもらえる人材として、日頃から熱心に番組づくりに取り組んでいる平岩さんに、取組役になってもらったということですね。

犬飼 会社にお邪魔して、とても明るく活気を感じています。働く者として会社に対してどのようないいことがありますか。

平岩 自分がずっと家庭と仕事の両立ができて、やりがいを感じていられるのは、「やりたいこと」を言えて、それを受け入れてくれる会社だからだと思います。また、個々の責任が集まって番



「とれたてランチBOX」生放送中

## 株式会社 エフエムさがみ

「相模原市」のコミュニティ放送局として市民の皆さんに愛される「市民に密着したラジオ」を目指し、平成8年9月に誕生しました。役員4名(女性1名)、正社員2名、契約社員2名(女性1名)、パート1名(女性)、その他ボランティアスタッフでエリアに特化した日々の情報を発信しています。



組を制作していただきますので、周りへのサポートも自然と生まれてくるのではな

いかと思います。

犬飼 どのような「やりたいこと」が形となりましたか。

平岩 平日10時〜13時まで放送している「とれたてランチBOX」は、私たち女性の企画から生まれた長寿番組です。夕飯作りの参考になるレシピ紹介や地元小学校の給食献立などの紹介も主婦にとつて役立つ情報提供の一例です。

犬飼 個々の責任や達成感そして思いやりから、素晴らしい放送が提供されています。本日は、ありがとうございます。



社会保険労務士 犬飼久恵さん  
市内で開業するママさん社労士

「取材後の感想」  
普段は車を運転しながら、何気なく聞いているエフエムさがみですが、繋がれる側のみですが、繋がれる側で皆さんと繋がること、皆さを感じること、事さを感じること、がさを感じること、お話の中で原社長から「何事も原社長が、大切にもう一言、後、さらにもう一言、葉が「切りました。今、求められるも、この側、つかぬ、の、現場、どの働く人も、の、現場、います。」



エフエムさがみは、相模原市・町田市・愛川町と災害時の情報提供について協定を結んでいます

**ワーク・ライフ・バランス推進事業**  
ワーク・ライフ・バランス推進のため、仕事と家庭の両立を目指して働く女性を応援しています

公益財団法人相模原市勤労者福祉サービスセンター

042-775-5505

(敬称略)

# 女性が活躍している企業を応援します

## アイデア満載の 相模大野図書館

市立相模大野図書館の窓口業務等を受託している「認定特定非営利活動法人らいぶらいぶ」さんに、女性活躍事例をインタビューしてきました。



従業員のアイデアから生まれた手造りコーナー

犬飼 司書資格を持たれている方が多く働かれています。この図書館の特色などがあれば教えてください。  
鈴木 谷越 本が大好きな人が集まっていますので、図書館運営にあたり、一冊でも多く本を読んでもらい、図書館を沢山のの方に利用頂けるよう従業員みんなで意見やアイデアを日頃から出し合っています。  
犬飼 どんなアイデアが取り入れられていますか？  
鈴木 窓口ではなかなかすぐには利用者のご要望やご質問に対応できない

ため、館内に、目印となるスカーフを巻いたコンシエルジュを配置したり、入口には本に関する情報などを書いたウェルカムボードを置いてあります。  
犬飼 たしかに機械で本を検索するのが難しく感じたりすると、直接話しながら探してもらえるのは嬉しいですね。また、日替わりのウェルカムボードは必ずチェックしてまいりますね。  
自分の出したアイデアが採用されたり、利用者から頼りにされていると日々感じられることは、就業意欲が高くなっても良いですね。  
谷越 そうなんです。従業員の就業意欲が高く、採用時に司書の資格がなかった人も働きながら取得し、今では78%が資格保持者となっています。また自分たちで事業や活動を企画提案していますので、日々の業務が常にあるのだと思います。



鈴木代表理事(右)と谷越副代表理事(左)にお話を伺いました



認定特定非営利活動法人  
**らいぶらいぶ**

相模原市内の図書館勤務の非常勤特別職（司書）が、専門知識や経験を生かし、人と本と図書館を結ぶ仕事をしたいの思いから平成18年5月に発足したNPO法人です。その他『絵本の中の料理を作る会』の開催など、様々な事業を行っています。図書館スタッフは正社員14名（1名育休中、男性1名）パート社員28名（男性2名）60歳以上も4名(男性1名)就労中です。



毎日変わるウェルカムボード

犬飼 皆さんの前向きな姿勢が伺えますね。ただ、女性が働くとなるとやはり家庭、育児との両立に悩む方も多いと思います。こちらではどのような取組がされていますか？  
鈴木 設立当初独身だった人が結婚し赤ちゃんが生まれたことで4名が育児休業を取得しました。自然な流れとして周りのみんなが協力しながら、全員が仕事と家庭の調和を図っています。  
犬飼 日々の業務の中でマニュアル作りや組織運営が、このような働きやすい職場をつくりだしているんですね。本日はありがとうございます。



社会保険労務士  
犬飼久恵さん

市内で開業するママさん社労士

「取材後の感想」  
普段はカウンターに座って静かに対応されていく方が多く、利用者に向き合っていることに驚きました。私も熱心で本や利用者に寄り添って、利用者になりたかったです。犬飼さん、ありがとうございます。



次回掲載企業大募集 貴社をアピールするチャンスです！！  
あなたの会社の女性活躍事例を教えてください

例) 女性管理職が多い/家庭と両立できる環境がある etc

(敬称略)